

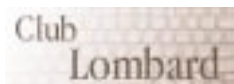
Club Lombard

Lombard開腹

必ずお読みください

PowerBook G3 Series (Bronze keyboard) (開発コード : Lombard)のハードウェアの増設・交換などに関する作業を解説したものです。すべての作業の前提として、個人で開腹した結果の故障については、保証修理にはならないことを了承し、自己責任において作業をしてください。作業に入る前は、かならずACアダプタとバッテリーは抜いておいてください。また、静電気にはくれぐれも注意してください。一瞬にして、全てを失うことがあります。

編集 : ほしいち



[Club Lombardのホームページへ](#)

Produced by Hoshi-ichi.
PDF file's supported by BlueGoat.

Lombard開腹 5 - 1

ケースを分解

あまり必要ではないと思いますが、筐体の分解のしかたです。

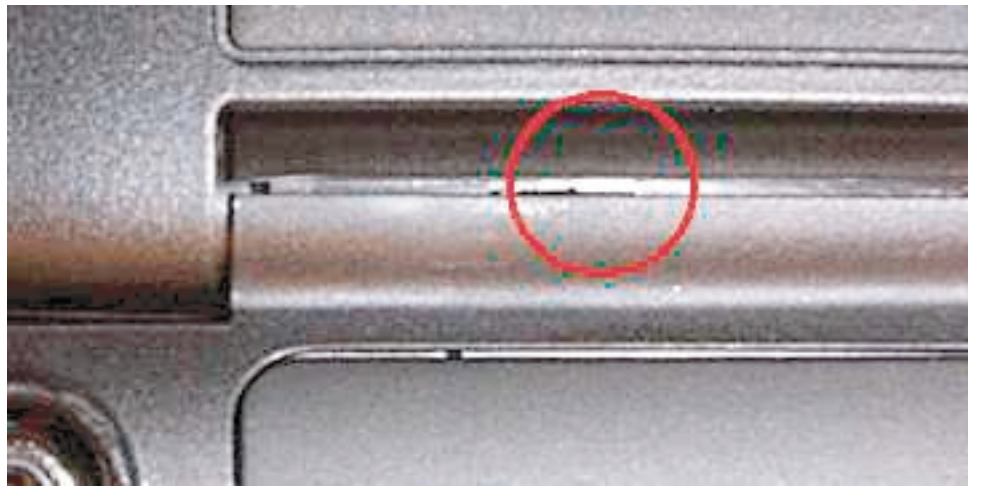
必要な工具：プラスドライバ、トルクスドライバ(T8)、マイナスドライバ

作業時間の目安：馴れた人なら15分、初めての人でも40分くらい（分解するまで）。

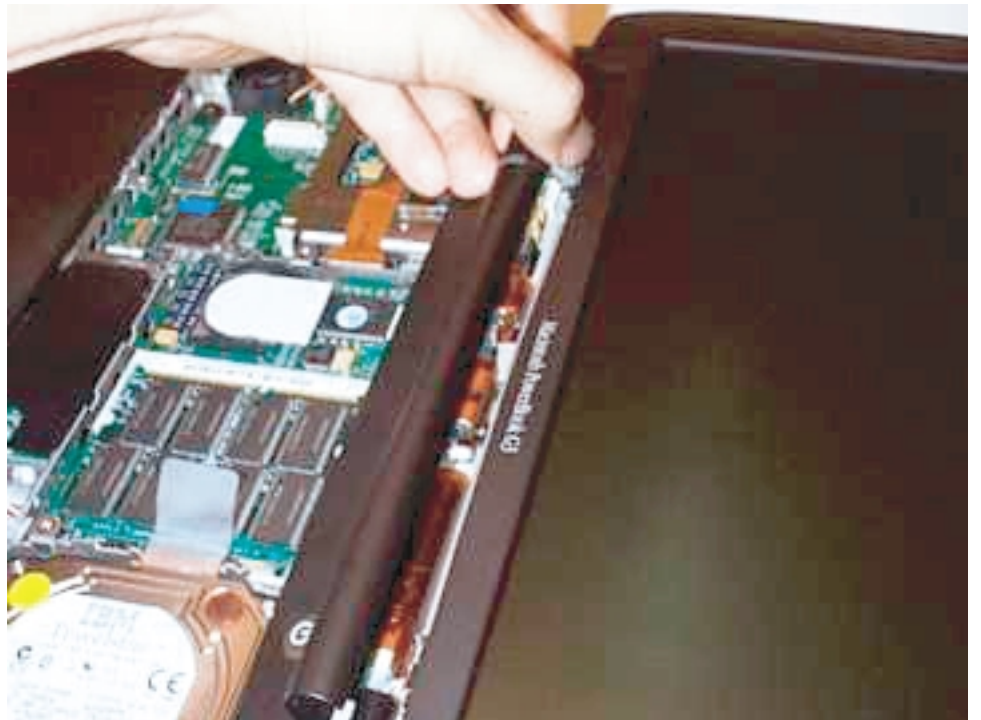
まず、**キーボードとヒートシンクをはずす（共通作業）**にしたがってキーボード、ヒートシンクをはずす。

次いで、**ハードディスク交換とキーボード交換**の項を参考に、ハードディスクとキーボードをはずしておく。モデムカードはケーブルをはずして、完全にはずしてしまったほうが作業は楽になる。

[図 1] まず、パワーオン・キーのある部分のパーツをはずす。背面側から見ると、図示した部分に切り欠きがあるので、そこに - ドライバを丁寧に差し込むとツメがはずれる。（強く差し込むと、ツメが折れるので注意）

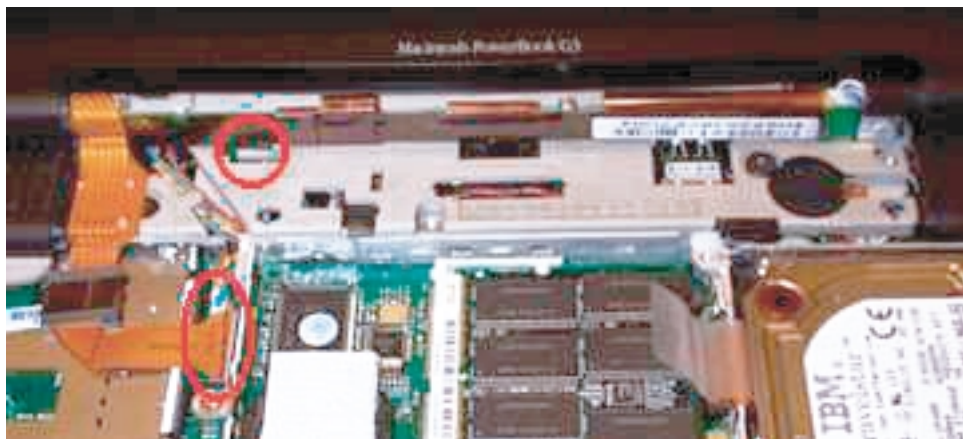


[図 2] ツメをはずした状態で、ディスプレイを広げ、うしろ側から持ち上げるようにしてははずす。



Lombard開腹 5 - 2

[図 3] 図の左下の円内、手前のディスプレイケーブル、奥のインバータケーブルを抜く。
インバータは、まず上の円のところに
あるツメをはずし、左側にスライド
すると、右にあるツメの部分があ
はずれる。



[図 4] 背面ポートの両脇にある4
本のトルクスねじをはずすし、デ
ィスプレイを上を持ち上げるとデ
ィスプレイははずれる。



[図 5] 裏側の7か所のトルクスね
じをはずす。2本長いねじがある
ので、位置を忘れないこと。図
では下の外側2本が長いねじ。

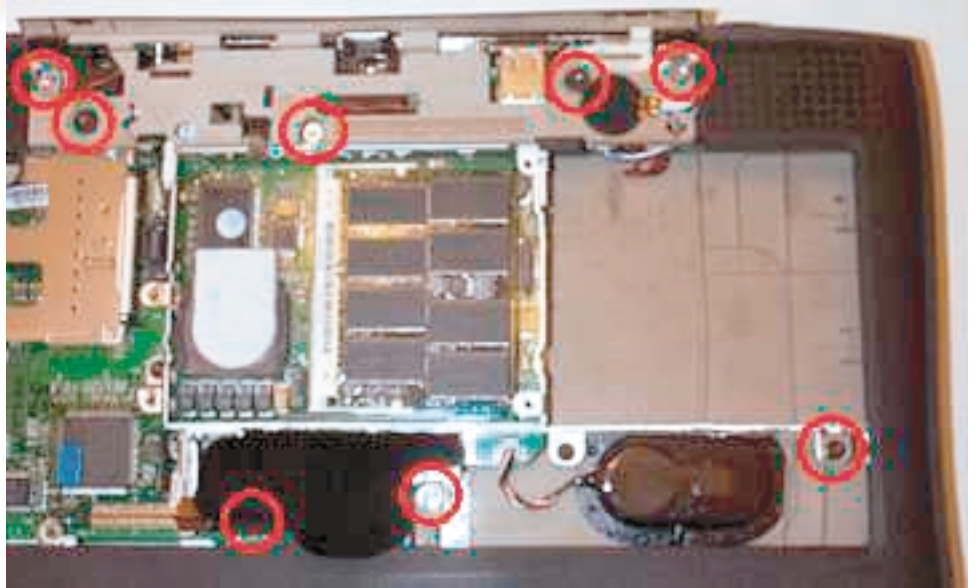


Lombard開腹 5 - 3 へつづく

Lombard開腹 5 - 3

[図 6] 表側でははずすねじは、図示した 8 か所（いずれもトルクスねじ）。

左下のねじは黒いカバーをめくり、下図の赤丸の部分を引き上げてトラックパッドケーブルをはずすと、その下にある。



[図 7] 右奥のパワーオンキーの手前部分にある、2つのコネクタ（左はパワーオンキー、右はスピーカ）を抜く。

しかるのちに、トップケースとボトムケースを分離する。いくつかツメがあるので、注意しながらも、思い切りよくはずす（まず、奥側中央のSCSIコネクタ上にあるツメをまずはずしておくとうりやすい）。

ここまで分解すれば、あとは見えるねじを外していくことで、さらに分解を進められるだろう。

組み上げるのは、当然逆の手順となる。トップケースとボトムケースを取りつける際、奥側中央のSCSIコネクタ上にあるツメがはまっていることを確認。直径1.5cmほどの黒いゴムシートが出てくる場合があるが、これは [図 7] 中央部の黒い円内（パワーオンキーの下）に敷くものである。

